

やまぐち食の 安心・安全情報

第44号 (令和3年12月)



【発行】 やまぐち食の安心・安全推進協議会
(事務局) 山口県環境生活部生活衛生課
753-8501 山口市滝町1-1
TEL: 083-933-2974/FAX: 083-933-3079
E-mail: a15300@pref.yamaguchi.lg.jp

©山口県

冬は特に
要注意!!

ノロウイルスによる食中毒

ノロウイルス食中毒は11月から3月に
かけて発生が増加しています!

○ノロウイルスって?

ノロウイルスは食中毒や感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。感染力が非常に強く、少量のノロウイルスが口に入っただけでも、人の腸管内で増殖して、消化器症状を起こします。



○どんな症状?

- ・潜伏期間：24～48時間
- ・主な症状：吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱

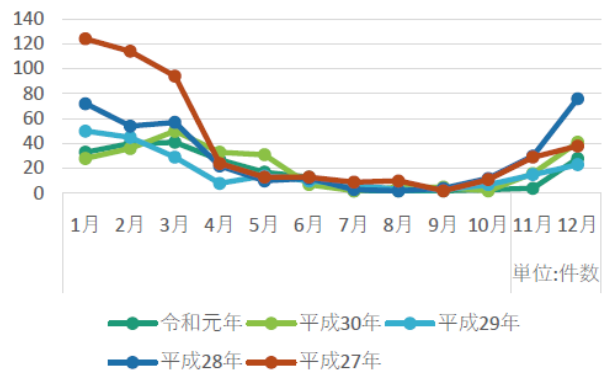
○感染経路は?

ノロウイルスは主に経口感染で、ノロウイルスに汚染された二枚貝などを食べることで感染します。

家庭では、感染者の便やおう吐物に触れた手で取り扱う食品などを介し、二次感染を起こすことが多くなっています。



ノロウイルス食中毒発生件数の推移



出典：厚生労働省「食中毒統計」資料令和元年～平成27年

予防ポイント

★しっかり手洗い

手洗いは食中毒予防の基本です!

★調理器具やキッチンが清潔に

★加熱が必要な食材はしっかり加熱

中心部を85～90℃で90秒間以上!

ノロウイルス等消毒※ 次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

おう吐物、ふん便の処理

約0.1%濃度の
希釈液



塩素系漂白剤
(原液濃度5～6%)
10ml
(ペットボトルキャップ2杯)

調理器具、衣類等の消毒

約0.02%濃度の
希釈液



塩素系漂白剤
(原液濃度5～6%)
2ml
(ペットボトルキャップ1/2杯)

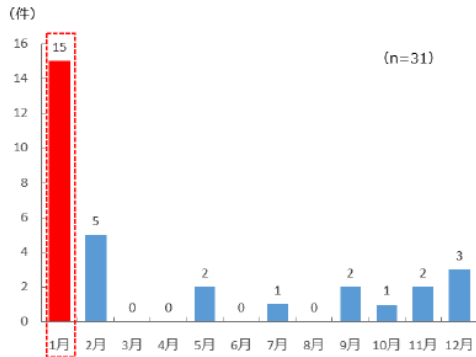
使用・保管の注意事項

- ・手指の消毒には絶対に使用しないでください。
- ・使用する際は十分に換気し、酸性のものと混ぜて使用しないでください。
- ・希釈したものを保管するときは、誤飲しないよう「消毒液」等明記して保管してください。
- ・子ども手の届かないところに保管してください。

※新型コロナウイルスの消毒用ではありません

お餅による窒息事故にご注意ください!

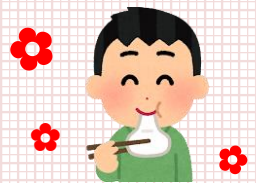
年末年始には餅を食べる機会が多く、毎年12月から1月にかけて餅による窒息事故が多くなっています。窒息事故は高齢者だけでなく、子どもでも起きています。



餅に関する窒息事故件数（事故発生月）
※H22.12～R2.9（出典：消費者庁）

お餅を食べるときの注意点

- 餅は小さく切り、食べやすい大きさにする
- お茶や汁物などを飲み、喉を潤してから食べる
(ただし、よく噛まないうちにお茶などで流し込むのは危険!)
- 一口の量は無理なく食べられる量にする
- ゆっくりとよく噛んで飲み込むようにする
- 高齢者や乳幼児が餅を食べる際は、周りの人が注意して見守る



呼びかけて反応があるときは…

- ・咳をすることが可能であれば、できる限り咳をさせる
- ・咳もできずに窒息しているときは、**背部叩打法**を行う

背部叩打法

- ・患者の後ろから、手のひらの基部で、左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も叩く

呼びかけに反応がない場合は、ただちに心肺蘇生を!!

物を喉に詰まらせた人への

応急手当の方法

〓 おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう 〓

やまぐち食べきり運動

山口県食品ロス削減推進協議会では、外食時や家庭での食べ残しなどを減らし、やまぐちの食材を“おいしく、ぜんぶ、食べきる”「やまぐち食べきり運動」を展開しています。

やまぐち食べきり協力店を募集しています!

★店舗に掲示できるステッカー、ポスター、卓上ポップをプレゼント!



登録対象

山口県内で営業する旅館・ホテル等の宿泊施設及び飲食店

取組内容

食品ロス削減のための次の**3項目以上**の取組を実践

- 情報提供** 食べきりメニューの提示
- 情報収集** お客様への聞き取り（希望量、嗜好や年齢層等）
- 仕入・保存・調理** 食材の使いきり（野菜の芯や茎等もスープ等に有効活用）
- 料理提供** 希望量に応じた料理の提供
- 有効活用** 料理の持ち帰りや食品廃棄物のリサイクル

お問合せ先 ▼

山口県食品ロス削減推進協議会
(事務局：山口県廃棄物・リサイクル対策課)
TEL/083-933-2992
E-mail/a15700@pref.yamaguchi.lg.jp

「やまぐち食の安心・安全情報誌」がwebで読めます!
(バックナンバーもこちらから)

